

「平和」と言える世界に

喜名小学校 六年三組 當山 彩奈

「この世界は、平和だろうか。」

わたしは考えてみた。

わたしは、平和じゃないと思いました。なぜなら、昔の戦争で、とても悲しい思いをして、今でも心がいやされない人、今、世界の国々で、戦争がおこっているからです。

世界の国々で、戦争がおこると、世界の多くの人が亡くなり、多くの人が悲しむことを

喜名小学校

この前の平和学習で学びました。

平和学習では、沖縄戦について学びました。

講師の先生の話では、沖縄戦の時代の子供の将来の夢は、兵隊さんになることだっただけです。

わたしの将来の夢は、絵をかき仕事に就くことです。もし、沖縄戦がなかったら、子供たちは、ほかにいろいろな将来の夢がもてたと思います。わたしたちは、戦争がない時代に生まれて、将来の夢が兵隊だけでなく、

ほかの将来の夢も選べるので、わたしは幸せ者だと思いました。

平和学習で、「チビチリガマ」と「シムクガマ」を見に行きました。ガマというのは、沖縄戦のときに、民間人がひなんしていた場所です。どちらのガマも、とてもじめじめして、いて、むし暑かったです。また、ガマの中は、とても暗くて、おくまで見えず、とてもこわかったです。

もしわたしが、沖縄戦の時代に生まれて、

喜名小学校

ガマの中にひなんしている人たちの一人だったら、ガマでの生活にたえきれないと思います。それでも、ガマの生活にたえ、生きのこった、民間人の人は、すごいと思いました。沖縄戦で亡くなった人数は、十五万人ほどだそうですね。戦争で亡くなった人の家族の心は、いやされないけど、もう、こんなことがおこらないように、戦争をなくすことが一番だと思います。

わたしは、そのために、友達や家族などの

人たちとのケンカをやめたり、もし、ケンカ
をしても、あとで、

「ごめんなさい。」

と、勇気をもつて言い、仲直りすることが大
切だと思えます。ほかにも、家族や友達と、
戦争や平和について話し合ったり、考えたり
していききたいと思えます。今、どれだけわた
したちが幸せなのか、知ってほしいです。

世界のみんなが考えていくことによつて、
戦争はなくなり、世界は笑顔でいっぱいにな
ると思えます。

この夢を、本当に実現させたいです。

だれもが、

「平和」

と言える世界に。